

災 害 見 舞 金 支 給 調 査 書

組 合 員 氏 名			り 災 日 時	自	年	月	日	時
組 合 員 証 記 号 番 号				至	年	月	日	時
り 災 の 場 所								
り 災 の 状 況 及 び そ の 顛 末								
り 災 の 程 度								
住 居 又 は 家 財 の 名 称	見 積 額		り 災 率 (%)	備 考				
	り 災 前 (円)	損 害 (円)						
住 居								
家 財	家 具							
	衣 類							
	そ の 他							
	計							
認 定	給 料 の 月 分							
り 災 状 況 の 写 真 又 は 見 取 図			調 査 年 月 日	年 月 日				
			調 査 担 当 者 職 氏 名	印				
			調 査 立 会 人 職 氏 名	印				
			備 考					
	理 事 長	事 務 局 長						係

- 備考
1. 「り災状況及びその顛末」欄は写實的に具体的に記入のこと。
 2. り災の程度「備考」欄には住居の構造を記入のこと。
 3. 家財の名称欄は、家具、衣類等主要なものとし、その他はその合計額により記入のこと。
 4. 浸水の程度により、損害の程度を認定する場合は住居と家財を包含して適用し、住居について2階以上の場合は、その階数を備考欄に記入のこと。
 5. 見積額は社会通念による時価とすること。